

I D 問答～新たに始まった、我(ら?)が精神の放浪?!～

作：I & D

⑮「保守(コンサーバティブ)」対「革新(リベラル)」、今、どのようになっているのか?!

I：先号(⑭)とも関わって、以前から思っていることですが、私達の若い頃は、いわゆる「保守(コンサーバティブ)」対「革新(リベラル)」ということが言われ、人々が、その双方の立場で、物事を見て、判断し、そして、行動していく。そういう捉え方が、一般的(普遍的)であったように思うのですが、最近では、どうもそうした見方が、よく分らない?極論すれば、成り立たない?

D：そうですね!例えば、選挙において、マスコミでは、「保守」対「革新」というような色分けで、今も相変わらず?人々の行動原理、社会のあり様(情勢)を説明しているようですが、どうも、しっくりこない?そういうことですよね?!

I：単純に言えば、そういうことなのですが、その辺りは、どのように見ればよいのでしょうか?

D：昔(当時)ほど、その明確な区分けが出来なくなってきている?そういうことかと思いますが、それを考える前に、まずは、人々(人間)が、何故、そうした二つの思想(性向)に分かれるのかということ、今一度確認する必要があるのかもしれないですね!つまり、その二つが、どうして生まれるのか(or 生まれてきたのか)ということですよ!

I：それは、どうしてですか?

D：端的に言えば、今の、それぞれの生活、社会状況に満足しているか、それとも、していないかということだからです!

I：しかし、それは、あまりにも表面的過ぎませんか?人々(人間)の世界観・価値観は、そんな、ある意味生物レベルの行動原理とは、違うのではないですか?

D：言いたいことは、よく分かりますが、言ってしまえば、我々人間だって、その生物の一つではないですか?だから、生物としての満足が、その根底にあるのは、ある意味当然なのではないでしょうか!ただし、その満足は、いわゆる肉体的な満足、言い換えれば、ただ衣食住が満たされているだけではないということではあります!

I：それなら、よく分ります!要は、もう一つの精神的な満足、そういうことが加わってくるということですよね?!

D：そういうことですよ!ただし、その精神的な満足は、そんなに単純なものではなく、その人の世界観・価値観(ある種の生活暦?)によって、かなり意味合いが違ってくるということではあります!

I：それは、どういうことですか?満たされているということに、かなりのヴァリエーションがあるということですか?

D：そうです!だから、私は、それを「納得」、出来れば「是々非々の納得」という言葉で言い表そうとしてきました!変な言い方ですが、「満足」よりは「納得」の方が、より人間的?であるからですよ!?

I：もし、そうなると、それぞれの立場(心情)が、たとえ「保守」とか「革新」とかというものであっても、そこで大切なことは、そこに、それぞれの「納得」、しかも「是々非々の納得」が、どのように入り込んでいくのかということになりますよね?!

D：まったく、その通りかと思えます。近年の、いわゆる「無党派層」と呼ばれる人達は、従来の「保守」とか「革新」とかと呼ばれる立場への、絶対的な信頼を捨て去り、その時々「納得」を、自らの行動原理としている?!しかし、それ故に、移ろい易い?!だが、一方で、「保守」も「革新」も、そうした人間の行動原理から逃れることはできない!ただ、レッテルとしては、それを維持できる(少なくとも、そのように振る舞うことはできる?)?!その違いだけなのではないか?!とは言え、その違いは、その時々社会システムでは、否が応でも大きなものとならざるを得ない?! (つづく)